

安心して暮らせる町

ある日の午後、訪問に向かおうと歩いていると、前から、周りを気にするように不安そうな表情で歩いてくる一人の女性がいきました。近づいてみると、私がいつも参加させてもらっている地域の認知症カフェに来られている方でした。

「〇〇さん、どうしました？ □□カフェで良くお会いしますよね？」その方も、私に見覚えがあったのか、今ご自身の中で起こっていることを、一気に話し出されました。お話しされると少し落ち着いたのか、表情も柔らかくなり、ケアマネジャーさんにも伝えておきますから、安心してくださいねとお伝えすると、笑顔で手を振って帰っていかれました。

これが、全く知らない人だったとすれば、自分にはたして声をかけられたらどうか？ その地域にどんな人が住んでいて、その人のことを少しでも知っているかいないかでは、対応に大きな違いがあるなと実感しました。認知症の方だけでなく、これは小さな子供たちにも当てはまることで、認知症カフェに限らず、色々な地域交流の場で、自分が住んでいたり働いていたりする地域を知り、住んでいる人を知ることが、安心して暮らしていける町づくりの

第一歩なんだろうなと感じた
ある日の出来事でした。

(2020年2月)

